

## 成功体験を積むこと 2

校長 吉田 美佳

5月24日（火）、さわやかな青空の下で運動会代替行事の体育発表会を実施しました。

1年生の布を刀のように見せた元気な踊り、2年生のカラフルな手袋と細かい動きが楽しいダンス、3年生の全身を使ったキレの良い創作花笠。低学年にとって道具の操作や隊形移動はとても難しいことですが、「力を合わせると大きなことができる」「みんなでやると楽しい」という達成感や一体感を味わうことができます。北の海で働く漁師の姿を腰を落として力強く表現した4年生のソーランは、迫力がありませんでした。快活で躍動感のある動きが見事に揃った5年生のポンポンチアには、元気をもらいました。さらに、最高学年らしい美しさと力強さに引き込まれた6年生の旗体操。旗を振りながら向きを変える俊敏さや、統率の取れたバランス技に圧倒されました。高学年になると、集団演技は自治能力、自己向上力を鍛える場であり、より高いパフォーマンスを発揮するために学び合う場でもあります。こうして、互いを尊重し、認め合うことの大切さを知っていくのです。

発表会2日前に6年生はリハーサルも兼ねて、お世話になった先生方を招待しました。この一か月間一生懸命に練習してきた自信と誇りが伝わってくる完成された演技を見た先生方は、その成長ぶりに驚きそれぞれ感想を伝え、激励しました。一人の先生は、「こんなにみんなが揃った、キレのある動きするなんて、いい意味で期待を裏切られた。去年もみんなと一緒に練習して、運動会当日は最高の演技を見せてくれたので、嬉しくて涙が出たけれど、今日の演技はそれ以上で、見ていて鳥肌が立った。感動をありがとう。」と号泣していました。6年生は照れながらも「涙もろいなあ。」と笑って、とても嬉しそうでした。放課後その先生は、「子どもの成長した姿が見られるのは、本当に嬉しい。この仕事は大変なことも多いけれど、こういう行事や一年間の終わりには、頑張りや努力が無駄じゃなかったと実感します。子どもたちのことも、この仕事も、ますます大好きになっちゃうんですよね。」と言い、私も共感しました。

学校行事は他の教育活動にはない魅力があります。それは変容と感動です。はじめは「できるかな」という不安から「少しずつできてきた」に変わり、当日は「やりきった」と自信をつけ、「次もやってみよう」に変容していく。そして、一人ではなく友だち全員でひとつの表現に取り組む、苦しいことを乗り越える、みんなでつくりあげの中で、大きな感動に変わります。



今年度は校庭整備工事終了まで校庭全面を使用することができないため、運動会は中止とせざるをえず演技発表のみとさせていただきましたが、保護者の皆さまのご理解と、当日のご参観をありがとうございます。また、PTA会長、おやじたちの会会長、内山自治会長の方々には、子どもたちのためにと校庭の拡張にご尽力いただき、感謝申し上げます。